

- 尾鷲市は、急峻な山岳地帯であり、やせ地である不利な条件を逆手にとり高品質な「尾鷲ヒノキ」を生産するとともに、生物多様性にも配慮した森林管理が認められ「日本農業遺産」にも登録されております。しかしながら、この地域においても放置林が増加しており、森林環境譲与税の財源と森林経営管理制度を活用し公益的機能の保全に努め災害から地域を守るとともに、「尾鷲ヒノキ林業」の伝統を後世に引継ぐため、森林整備を推進する方針である。
- 令和元年度は、23.04haの意向調査を実施し内、18.99haが市に管理を委託するとの意向を示された。令和2年度においては、以下の取組を実施。
 - ・ 令和元年に市に管理を委託するとの意向を示された18.99haの測量及び森林資源のデータ化を実施した。
 - ・ 市内の私有林人工林80.41ha(101筆)について意向調査を実施し、市に管理を委託する方が59.88ha(73筆) 自分で管理する等が1.72 ha(1筆)との結果となった。
- 令和3年度では、令和2年度に市に管理を委託すると回答のあった59.88haの測量及び森林資源のデータ化を実施する予定である。

1 令和2年度 森林経営管理事業 測量及び現地調査業務委託

- ・ 令和元年度に市に管理をすると意向を示された18.99haを対象に、今後、経営が可能とみられる人工林の面積を測量し、人工林内の森林資源を調査することで、今後の経営管理を推進する業務。

【事業費】 3,524千円（うち譲与税3,524千円）

（譲与税は業務委託費に係る部分に充当）

【実績】 13.90haの森林資源のデータ化

2 森林所有者への意向調査の実施

- ・ 私有林人工林80.41ha(101筆)の森林所有者に対し、今後の森林経営についての意向を確認した。

【事業費】 6千円（うち譲与税6千円）

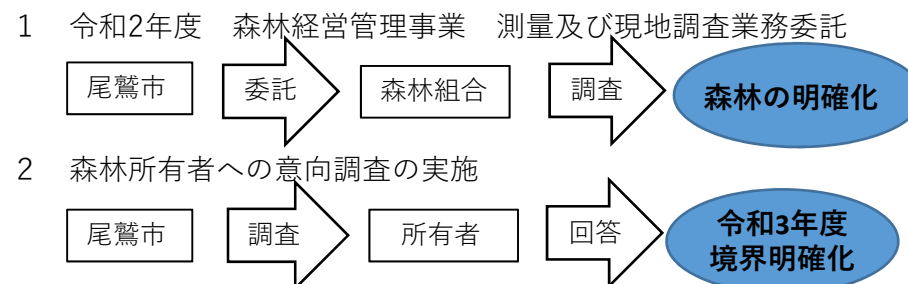
（譲与税は、通信運搬費に係る部分に充当）

【実績】 意向調査地80.41ha(101筆)



（事業1：令和2年度森林経営管理事業
測量及び現地調査業務委託）

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 1の事業においては、成果品を林地台帳へ追記することで、今後の森林管理の精度向上を図る。
- ・ 2の事業においては、意向調査を行う前段階の所有確認を実施することで、回答率の向上を図り、職員自らが所有者へ意向を確認することで、事業の円滑化を図った。

基礎データ

①令和2年度譲与額	28,434千円
②私有林人工林面積（※1）	9,701.56ha
③林野率（※1）	92%
④人口（※2）	17,253人
⑤林業就業者数（※2）	41人

※1：「令和元年度版 三重県森林林業統計書」より ※2：「令和2年度尾鷲市統計書」より